

氏名	所属	タイトル	内容
井上 久美	工学域基礎教育センター 准教授	生物工学：バイオセンサをつくらう	バイオセンサとはなにか、について簡単な講義の後、実際にグルコースバイオセンサを作製してグルコースを測る実験を、1年生のゼミの様子を通して紹介します。講義では難しそうにみえるバイオセンサも、実験で体験することで理解が深まる様子を紹介できればと思います。
田中 靖浩	生命環境学部環境科学科 准教授	微生物アート制作を体験してみよう	ピンク、オレンジ、青、緑といった様々な色の環境微生物を使って寒天培地の上に絵を描く「微生物アート」について、その制作方法や完成した作品を本学の女子学生が紹介します。「微生物アート」の制作を通して、環境中には様々な種類の微生物が存在することを学びます。
宮本 和子	国際交流センター 教授	カンボジアにおける国際地域保健研究を紹介します	カンボジアにおいて講師が実施している寄生虫感染症や子どもの低栄養にかかわる地域調査の実際をご紹介します。
伊藤 大裕	大学院医工農学総合教育部(3年博士課程)-統合応用生命科学専攻-生命工学コース 2年次	葉包紙で保存したフリーズドライ精子からのマウス個体作出	精子の冷凍保存はもう古い！？精子をはがきに貼り付けてポストに入れるだけ！届いた精子を顕微授精すれば赤ちゃんマウスがつかれます。
林 えりか	大学院医工農学総合教育部(修士課程)-生命環境学専攻-バイオサイエンスコース 2年次	国際宇宙ステーションでの胚培養を目指してー凍結耐性の最も高いマウス2細胞期胚の探索ー	受精卵の作製には体外受精や顕微授精などの方法があります。過酷な宇宙環境実験にも耐えらえる受精卵を作るにはどんな方法が最適か紹介します。
久保田 友人	大学院医工農学総合教育部(修士課程)-生命医科学専攻 2年次	脳の病気のメカニズム解明を目指した研究	脳の仕組みとその異常について解説し、病気のメカニズムを明らかにするための実験系構築についてご紹介します。
上野 智広	大学院医工農学総合教育部(3年博士課程)-統合応用生命科学専攻-生命医科学コース 2年次	注意を向けると素早く反応できる要因の解析	みなさんは黒板をみても、まわりの同級生の様子が分かりますよね。このように、私たちは、目を向けていない場所に注目して、特定の場所の情報を収集することができます。この研究では、なぜ注目することで、素早く理解できるのかについて調べました。モニターに映し出された映像が、上もしくは下方向のどちらに動いたかをボタン押しで答えてもらう課題を行いました。そして、注意を向けるとどれくらい早く、正確にボタンを押せたかについて分析しました。
秋山 拓巳	大学院医工農学総合教育部(修士課程)-工学専攻-コンピュータ理工学コース 2年次	視線だけで操作するマルチプレイゲームの開発-開発ゲームでのプレイヤーの行動パターンとは？-	身障者支援のために開発した「視線だけで操作できるマルチプレイゲーム」を紹介し、健常者プレイヤーが開発ゲームをプレイした時の行動パターンについて紹介します。
内藤 綾菜	大学院医工農学総合教育部(修士課程)-工学専攻-コンピュータ理工学コース 2年次	仮想空間での息の合わせ方の特徴	仮想空間で3人で同じ行動を行って、現実空間とどのように違うのか調べた結果を紹介します。
---	山梨大学工学部メカトロニクス工学科	人工知能搭載！案内ロボット製作プロジェクト	山梨大学にはノーベル賞医学生理学賞を受賞された大村智博士の業績を称える、大村智記念学術館があります。そこに展示されている大村先生ゆかりの展示物を案内する案内ロボット「さとっちゃん」を、山梨大学工学部メカトロニクス工学科の学生が中心で開発しました。このロボットは人工知能を搭載し、人間と対話しながら展示物を自律移動しながら案内をします。この動画では開発に携わってくださった学生のみなさんと教員のみなさんがロボットの解説をしています。